



家の前に出してもらった資源物を、保護者メンバーで歩いて集めています。シーズンオフの寒い時期なので、冬はそり、雪が解けたら台車をひいて集めています。

奨励金は、部員が少ないうちのチームでは、なくてはならない貴重な活動費で、ヘルメット、ボールなどに使っています。子どもと一緒に集団回収のチラシを配っているせいか、子どもたちもリサイクルを身近に感じてくれています。お父さんのビール缶はアルミだとか、分別してくれるようになりました。

ごみ有料化をきっかけに、もっと分別を勉強しなくてはいけないなと思っています。分別すればリサイクルできるし、集団回収を行えば奨励金を団体の活動費用として使えます。これからも子どもたちが、チームのモットー『全員野球で全力プレー』できるように、集団回収を続けたいですね。



左から
伊藤 千ヨ子 さん
会田 大地 くん
会田 龍永 くん
伊藤 佑加 さん

町内会やPTAなど、地域の団体が資源6品目（新聞紙、雑誌、段ボール、紙パック、びん類、アルミ類）を回収した場合、奨励金として回収量1kgあたり3円を交付しています。団体の活動費用になることはもちろん、家庭でのリサイクル意識が高まる効果もあります。



集団回収で資源物を集めて団体の活動費用に！ (P19～21)

廃食油、小型電子機器、蛍光管などは拠点回収を利用しよう！ (P22～25)

公共施設や協力店に設置されている回収ボックスに

① 廃食油（車両用代替燃料）
② 古着・古布（工業用ぞうきん）
③ 主要古紙（再生紙）
④ 小型電子機器（レアメタル）、7月1日から新たに
⑤ 蛍光管（ガラスウール、アルミ原料）も出すことができるようになりました。

ごみの回収効率が良い、拠点回収や集団回収を利用することができます

野球少年団で、集団回収をしている泉野イーグルスの会田さん、伊藤さんにお話を聞きました

Interview インタビュー

ふれあい収集を利用している横川さんにお話を聞きました



回収担当の
石川さん(右)と
笑顔の
横川さん(左)

20年前に大病をしてから足が悪く、2年前、ケアマネージャーさんから「ふれあい収集に申し込んでみない？」と言われたことがきっかけで利用を開始しました。週に1回、収集担当の方が集めて来てくれます。

収集の日には、毎回顔を見て挨拶をしてくれます。毎週会うことが楽しみになっていますね。また、自分のごみのせいで迷惑をかけたくないと思うようになりました。

以前は、ごみ出しが本当に大変だったので、ふれあい収集が決定したときは、本当にうれしく、今でも忘れられない思い出の一つで、感謝の気持ちでいっぱいです。自分のできることには限界があるけれど、これからもごみの分別だとか、ちょっとしたでも自分のしていきたいですね。



7月1日時点で2歳未満の乳幼児がいる世帯は、月齢に合わせた20ℓごみ袋を一定枚数交付します。必ず申請してください。この制度は、苦小牧へ里帰り出産した世帯の方も利用できます。(下記参照)



紙おむつを使用している世帯へ、有料指定ごみ袋を交付します！ (P16)

高齢や障がいなどが原因で紙おむつの給付を受けている方は、紙おむつと一緒に1月当たり10枚、30ℓのごみ袋を送付します。(申請不要)

「ごみ出しが困難であったり、紙おむつを利用しているためにごみの減量が難しい方への制度があります」

ふれあい収集を利用して、ごみ収集と声かけで安心した一人暮らしを！ (P17、18)

日頃のごみ出しに困っている一人暮らしの高齢者や、障がいを持っている方を対象に、声かけをしながら戸別訪問し、ごみを収集しています。ふれあい収集は、孤立しがちな一人暮らしの方を対象に、ごみ収集を通じた見守りをする目的としています。申請後、審査を経て決定します。

平成23年7月3日～平成25年5月31日に子どもが生まれた方を対象に特設窓口を設置します

とき 6月10日(月)～21日(金)
(土・日曜日を除く)
8時45分～17時15分

ところ 市役所2階談話室

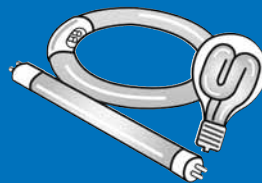
持ち物 母子健康手帳

※6月15日(土)、16日(日)、22日(土)、23日(日)は10時～16時のみ、市民活動センター、のぞみ・沼ノ端コミセンで受け付けます。

2歳未満の乳幼児がいる世帯は申請を

- 1 生まれたときは？
母子健康手帳を持参し、健康支援課、各出張所の「出生状況用紙」を提出してください(200を240枚)
- 2 苦小牧へ転入したときは？
母子健康手帳を持参し、健康支援課、各出張所の「出生状況用紙」を提出してください(月齢に合わせて200を30～240枚)
- 3 苦小牧で里帰り出産したときは？
指定ごみ袋交付申請書(清掃事業課へ電話で取り寄せ)に母子健康手帳の出生届出済証明欄の写しを添付し清掃事業課へ郵送してください(200を20枚)

蛍光管(拠点回収) (P24)



一般家庭から排出する蛍光管を、ホームセンターや家電量販店などで回収します。

なお、割れた蛍光管は燃やせないごみになるため、注意してください。また、白熱球やLEDは対象外です。